



[エマオ通信]

No.12 (7月15日発行)
 発行人 高良 研一 (会長)
 編集人 稲川 仁 (事務局長)
 発行者 木村 均 (書記)

日本バプテスト連盟全国壮年会連合 「伝道者養成と教会形成を担う働き」

24/25 年度主題: 「私と教会が元気になるには」

聖句: わたしたちの心は燃えていたではないか (ルカ 24:32)

<メッセージ> 「直接、顔と顔を合わせることでできる幸い」

齊藤弘司 (松本蟻ヶ崎教会牧師)

私たちの教会では2019年10月に新会堂が完成しました。11月から新会堂での礼拝を始めまして、今年の11月で満6年を迎えます。

昨年7月27日(土)から28日(日)にかけて、沼田伝道所の奥田稔牧師ご夫妻と教会のみなさんが、4台の車に分乗して新会堂の見学に來られました。将来の会堂建築を具体的に祈るため、自分たちと似たような規模の会堂建築に学びたいとのことでした。

私たちの教会は、日本人に加えて、アジアの各国から長野県に移住して來た方が教会員として与えられています。沼田伝道所もアジアにルーツを持つ方が多くつながっているとのこと、この日の教会学校は日本語クラスと外国語クラスに分かれて、聖書のみ言葉を分かち合うことができました。いずれの分級でも活発な対話が行われていました。

主日礼拝では、沼田伝道所のみなさんが、日本語で特別賛美をささげてくださいました。

昼食会を挟みまして、2代目の会堂建築委員長を務めました齊藤浩平さんから証しを伺う時間を持ちました。会堂建築の写真を尾山知子さんがスライドにまとめてくださったものを観ながら、上手に行った事柄、また祈らされた事柄について、実感のこもったお話を聴くことができました。日本語が得意ではない方のために、当教会の許清萍(ヒーチンピン)さんが通訳の奉仕をしました。

私たちは普段20名前後で礼拝を守っているのですが、この日は38名で礼拝を守ることができました。賛美の歌声が会堂いっぱいに響いて、大いに励まされました。

教育館(旧牧師館)にはエアコンがないため、沼田伝道所のみなさんの宿泊は、松本福音村教会が快く引き受けてくださいました。

すべては協力伝道の恵みです。新しい出会いが与えられましたことを、主に感謝いたします。「私たちは、あなたがたの顔を見たい、また、あなたがたの信仰の足りないところを補いたいと、夜も昼も切に祈っています。」(1テサロニケ 3:10 聖書協会共同訳)



<証①> 「連合壮年会 コイノニアってなんですか？」

檜崎宣夫 (田辺教会)

関西連合壮年会の檜崎(ナラサキ)です。田辺キリスト教会(大阪)の教会員です。

年に1-2回のことですが関西連合壮年のみなさんと交流する機会が与えられます。いつも10名程度のメンバーが集まります。それぞれの教会で礼拝の後集まってプログラムが終わって、それから近場のファミレスに集まるような機会になるのでそんなに長い交流の時間があるわけでもない。それでも毎回不思議に心が通い合う仲間がここにいるんだな、と感じるのが不思議。

それぞれ、全然違う生き立ちがあって、全然接点のない暮らしをしている。それでも教会の中では同じような課題に向き合って、情報交換する中でいつのまにか深い連帯感をかんじてわかれるときは兄弟みたいに思ってしまう。

ほんとイエスさまと一緒にパスタやポテチつまみながら話聞いてくれるみたいな感じです。この瞬間があるから、次の半年また頑張れる。(笑) 写真は昨日(6/29)の神学校週間の懇親会。



<証②> 「キリストの日に」

片桐健司（品川教会）

こうしてわたしは、自分が走ったことが無駄ではなく、労苦したことが無駄ではなかったと、キリストの日に誇ることができるでしょう。

（フィリピの信徒への手紙 2 章 16 節）

私がバプテスマを受けたのは品川教会が教会組織をした 2 年後の 1964 年、高校 1 年生の時でした。以後 60 年、ずっと品川教会の教会員として教会生活を送ってきました。

ですから自分の信仰生活は教会の歩みと共にあったと言えるかもしれません。長い教会生活の中で、よいこと、大変なこと、もうやめようかと思ったことなど、たくさんありました。そんな中でいつも神様に導かれていたことを感謝したいと思います。

昨年度、品川教会は無牧師でした。その中で、老朽化した会堂、教育館、牧師館をどうするかも教会の大きな課題でした。60 年間、牧師がずっとおられたことは、それだけでも感謝なことですが、初めて無牧師になってみてどうしていか不安と迷いの中での歩みでした。「この教会にビジョンはあるのか、ビジョンのないところに牧師は来てくれない」という教会員の声に、長いこと教会生活を続けた者には、その責任を問われたような思いにもなりました。牧師招聘、教会改装という課題に向き合い、大変な 1 年間でしたが、教会員ひとりひとりが、キリストの体となって品川教会を支えてくださり、難関をどうにか乗り越え、新年度新しい牧師を迎えることができました。また、会堂などの改装もこの 5 月に無事終わりました。

60 年間走り続けてきたことが、キリストの日に誇ることができる、そんな信仰生活をこれからも続けていきたいと思っています。



<今後の歩みと働きのための祈り>

- ◎ 2025 年 8 月 22 日（金）～23 日（土） 第 60 回全国壮年大会 in さいたま（埼玉の浦和教会でオンライン併用）参加登録締切は 7 月 15 日ですが、「教会形成」の為に大事なテーマであり、大変良き学びの機会となりますので、どなたでも、参加登録がまだの方は、至急、大会 HP を通じて、申込み願います。
- テーマ これからの No Border な教会の話をしよう！ ～教会が「教会」であり続けるために～
- 主題講演 講師：朴 思郁（日本バプテスト連盟宣教研究所所長、西川口教会牧師）
- 良き学びの大会となるように、そして、準備にあたっている実行委員会のために祈りましょう。
- 北関東連合壮年会実行委員長：戸田 浩司（西川口教会）
- 参加費：会場 2,000 円、オンライン 1,000 円、22 日夕食懇親会 1,500 円（代議員登録のみは 0 円です）
下記の全国壮年会連合 HP、又は、各教会・伝道所に送付されています、チラシをご覧ください。

[2025 北関東大会（第 60 回全国壮年大会）の案内 | 日本バプテスト連盟全国壮年会連合](#)

【きたかん WEB】パスワード noborder60

[第 60 回 全国壮年大会 - 資料ページ \(7/3 更新\) | 北関東地方連合](#)

<https://church-church.com/reference/>

- ◎ 8 月 20 日（水）全国壮年会連合定期総会の議決表の締切日です。早めに全国壮年会連合事務局へ送付願います。
- ◎ 8 月 21 日（木）全国壮年会連合定期総会（文書総会）で次期（2026-27 年度）全国壮年会連合役員（会長、副会長、監査 2 名）と奨学金委員長の選任のために。
- ◎ この 4 月からの 2025 年度より、神学生奨学金だけでなく、向こう 10 年間、神学校献金が、東京バプ、九州バプの両神学校への運営資金支援（年間 350 万円）として用いられるので、引き続き、神学校献金の目標（総額 2500 万円）達成に向けて、年間を通じて、各教会・伝道所が豊かに取り組めるように。
- ◎ 西南学院大学神学部、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校で教鞭をとっておられる教員やスタッフの方々のために。そして、これらの神学校で学ぶ献身した神学生が起こされるように。更に特色と強みを生かした三つの神学校での働きを通じて、諸教会・伝道所の各教会員の学びが豊かに祝されますように。特にオンライン受講等により、信徒説教のための学びを深め、無牧師の教会・伝道所等での奉仕ができますように。信徒一人ひとりの献身から「教役者の働きを担う献身」へ導かれるように。

<お願い>

- ◆ それぞれのところで主にあって頑張っておられる方々やその働きをご紹介ください。このエマオ通信でその証を紹介してまいります。
- ◆ 第 1 回壮年大会（1965 年目白ヶ丘教会他）開催以来の大会資料をお持ちの方をご紹介しますように。